

2024年度 授業要項

区分	専門基礎分野		履修学年/昼夜別	第1学年/昼
科目名	解剖学 I		履修単位/時間	2単位/30時間
教員資格	鍼灸教員資格		使用教室	第1鍼灸普通教室
教員名	大野 政明			
学習目標と講義概要	はり師きゅう師として必要な人体構造の知識を身に付ける。本科目では主として運動器に焦点を当て、筋および骨の構造について論じられるようにする。			
回数	コマ数	時間数	学習内容	
1	1	2	解剖学 総論	
2	1	2	運動器系、全身の骨格、脊柱・胸郭①	
3	1	2	運動器系、全身の骨格、脊柱・胸郭②	
4	1	2	運動器系、全身の骨格、上肢の骨格①	
5	1	2	運動器系、全身の骨格、上肢の骨格②	
6	1	2	運動器系、全身の骨格、上肢の骨格③	
7	1	2	運動器系、全身の骨格、下肢の骨格①	
8	1	2	運動器系、全身の骨格、下肢の骨格②	
9	1	2	運動器系、全身の骨格、下肢の骨格③	
10	1	2	運動器系、全身の骨格、頭蓋①	
11	1	2	運動器系、全身の骨格、頭蓋②	
12	1	2	運動器系、全身の筋①	
13	1	2	運動器系、全身の筋②	
14	1	2	単位認定試験	
15	1	2	解答解説	
合計				
15	15	30		
学習方法				
1) 板書及び説明、解説 2) 資料の配布及び説明、解説				
評価方法				
単位認定試験				
「学則」及び「学則施行細則」並びに「単位認定試験実施要領」「単位の授与・進級判定要領」「成績評価規程」に準ずる。				
教科書				
解剖学 東洋療法学校協会編：医歯薬出版社				
教員について【実務経験有】				
担当教員は鍼灸師の教員資格を持ち鍼灸接骨院にて5年以上臨床経験を積んでおり、現在も附属鍼灸院で臨床経験を積んでいる。その経験に基づいて本科目について資格取得後に応用できるような授業を展開する。				

2024年度 授業要項

区分	専門基礎分野		履修学年/昼夜別	第1学年/昼
科目名	解剖学Ⅱ		履修単位/時間	2単位/30時間
教員資格	鍼灸教員資格		使用教室	第1鍼灸普通教室
教員名	大野 政明			
学習目標と講義概要	はり師きゅう師として必要な人体構造の知識を身に付ける。本科目では主として内臓器官に焦点を当て、消化器、呼吸器、泌尿器、生殖器、内分泌器官の構造について論じられるようにする。			
回数	コマ数	時間数	学習内容	
1	1	2	消化器系、口腔	
2	1	2	消化器系、咽頭、食道	
3	1	2	消化器系、胃	
4	1	2	消化器系、小腸	
5	1	2	消化器系、大腸	
6	1	2	消化器系、肝臓	
7	1	2	消化器系、胆嚢、膵臓	
8	1	2	呼吸器系、鼻腔・副鼻腔、咽頭・喉頭	
9	1	2	呼吸器系、気管と気管支、肺	
10	1	2	泌尿器系、腎臓	
11	1	2	泌尿器系、尿路	
12	1	2	生殖器系、男性生殖器	
13	1	2	生殖器系、女性生殖器	
14	1	2	単位認定試験	
15	1	2	解答解説	
合計				
15	15	30		
学習方法 1) 板書及び説明、解説 2) 資料の配布及び説明、解説				
評価方法 単位認定試験 「学則」及び「学則施行細則」並びに「単位認定試験実施要領」「単位の授与・進級判定要領」「成績評価規程」に準ずる。				
教科書 解剖学 東洋療法学校協会編：医歯薬出版社				
教員について【実務経験有】 担当教員は鍼灸師の教員資格を持ち鍼灸接骨院にて5年以上臨床経験を積んでおり、現在も附属鍼灸院で臨床経験を積んでいる。その経験に基づいて本科目について資格取得後に応用できるような授業を展開する。				

2024年度 授業要項

区分	専門基礎分野		履修学年/昼夜別	第1学年/昼
科目名	生理学 I		履修単位/時間	2単位/30時間
教員資格	鍼灸教員資格		使用教室	第1鍼灸普通教室
教員名	仲條 佐登美			
学習目標と講義概要	人体を構成する各器官の正常な機能について理解する。 本科目は、複雑な人体の機能のうち、主として生命現象の基礎、循環、呼吸、消化と吸収、栄養と代謝の仕組みと機能について理解を深め、それらについて論じられるようにする。			
回数	コマ数	時間数	学習内容	
1	1	2	生理学の基礎 1	
2	1	2	生理学の基礎 2	
3	1	2	血液の組成と機能1	
4	1	2	血液の組成と機能2	
5	1	2	循環調節の仕組み1	
6	1	2	循環調節の仕組み2	
7	1	2	循環調節の仕組み3	
8	1	2	呼吸の調節の仕組み1	
9	1	2	呼吸の調節の仕組み2	
10	1	2	消化と吸収 1	
11	1	2	消化と吸収 2	
12	1	2	栄養と代謝 1	
13	1	2	栄養と代謝 2	
14	1	2	単位認定試験	
15	1	2	解答解説	
合計				
15	15	30		
学習方法 1) 板書及び説明、解説 2) 資料の配布及び説明、解説				
評価方法 単位認定試験 「学則」及び「学則施行細則」並びに「単位認定試験実施要領」「単位の授与・進級判定要領」「成績評価規程」に準ずる。				
教科書 生理学 東洋療法学校協会編：医歯薬出版社				
教員について【実務経験有】 担当教員は鍼灸師の教員資格を持ち鍼灸治療院にて5年以上臨床経験を積んでおり、現在も附属鍼灸院で臨床経験を積んでいる。その経験に基づいて本科目について資格取得後に応用できるような授業を展開する。				

2024年度 授業要項

区分	専門基礎分野		履修学年/昼夜別	第1学年/昼
科目名	生理学Ⅱ		履修単位/時間	2単位/30時間
教員資格	鍼灸教員資格		使用教室	第1鍼灸普通教室
教員名	仲條 佐登美			
学習目標と講義概要	人体を構成する各器官の正常な機能について理解する。 本科目は、複雑な人体の機能のうち、体温調節、尿の生成と排泄、内分泌、生殖と成長と老化、神経系の基礎および中枢神経系の仕組みと機能について理解を深め、それらについて論じられるようにする。			
回数	コマ数	時間数	学習内容	
1	1	2	体温調節の仕組み	
2	1	2	尿の生成と排泄の仕組み1	
3	1	2	尿の生成と排泄の仕組み2	
4	1	2	内分泌系の機能 1	
5	1	2	内分泌系の機能 2	
6	1	2	内分泌系の機能 3	
7	1	2	生殖・成長と老化1	
8	1	2	生殖・成長と老化2	
9	1	2	神経系の基本機能1	
10	1	2	神経系の基本機能2	
11	1	2	中枢神経系の機能1	
12	1	2	中枢神経系の機能2	
13	1	2	中枢神経系の機能3	
14	1	2	単位認定試験	
15	1	2	解答解説	
合計				
15	15	30		
学習方法 1) 板書及び説明、解説 2) 資料の配布及び説明、解説				
評価方法 単位認定試験 「学則」及び「学則施行細則」並びに「単位認定試験実施要領」「単位の授与・進級判定要領」「成績評価規程」に準ずる。				
教科書 生理学 東洋療法学校協会編：医歯薬出版社				
教員について【実務経験有】 担当教員は鍼灸師の教員資格を持ち鍼灸治療院にて5年以上臨床経験を積んでおり、現在も附属鍼灸院で臨床経験を積んでいる。その経験に基づいて本科目について資格取得後に応用できるような授業を展開する。				

2024年度 授業要項

区分	専門基礎分野		履修学年/昼夜別	第1学年/昼
科目名	衛生学・公衆衛生学 I		履修単位/時間	2単位/30時間
教員資格	鍼灸教員資格		使用教室	第1鍼灸普通教室
教員名	加瀬 静馬			
学習目標と講義概要	疾病予防と健康の保持・増進、健康阻害の成り立ちを社会環境との関連から理解する。本教科は、保健医療福祉の基本事項を理解し、疾病予防、健康増進の知識や技術および保健福祉の法制・倫理をわきまえ、これらに関する社会的側面を論じることができるようにする。			
回数	コマ数	時間数	学習内容	
1	1	2	衛生学・公衆衛生学の歴史と意義／健康(概要と管理)	
2	1	2	ライフスタイルと健康(食品と栄養／運動と健康)	
3	1	2	環境と健康(環境とは／日常生活環境／環境問題)	
4	1	2	産業保健(意義・行政・健康)	
5	1	2	産業保健(労働災害・業務上疾病とその対策)	
6	1	2	精神保健(意義と健康／精神障害の現状と分類)	
7	1	2	産業保健(労働災害／業務上疾病とその対策)	
8	1	2	精神保健(精神障害の現状と分類)	
9	1	2	母子保健(母体の健康／乳幼児の健康／母体保護と家族計画／少子化と子育て支援)	
10	1	2	成人・高齢者保健(意義／加齢と老化／生活習慣病／保健福祉／介護／難病対策)	
11	1	2	感染症とその対策(意義／種類／発生要因／感染症予防／免疫)	
12	1	2	消毒法(一般／種類／消毒の実際／医療廃棄物)	
13	1	2	疫学(概念／頻度の測定／疫学調査)／保健統計(意義／主要な保健統計指標)	
14	1	2	単位認定試験	
15	1	2	解答解説	
合計				
15	15	30		
学習方法				
1) 板書及び説明、解説 2) 資料の配布及び説明、解説				
評価方法				
単位認定試験				
「学則」及び「学則施行細則」並びに「単位認定試験実施要領」「単位の授与・進級判定要領」「成績評価規程」に準ずる。				
教科書				
衛生学・公衆衛生学: 医歯薬出版株式会社				
教員について【実務経験有】				
担当教員は鍼灸師の教員資格を持ち鍼灸治療院にて臨床経験を積んでおり、現在も附属鍼灸院で臨床経験を積んでいる。その経験に基づいて本科目について資格取得後に応用できるような授業を展開する。				